空のはて黎明を告ぐ しき陽は今昇り

平和をと声は轟く 吹きすさぶ嵐をつきて 黒き雲西に流れん

逞ましき友の怒りに

雄々 し し 広き地に鍬ふりかざし 幸の世永遠に築かん くも我等誓いし

萠え水流るまで

こだまする我等が雄叫び輝やける祖国の山河に なったがまれた。 おれら、またけれた。

一すじの光求めて

腕組みて歩み進まん ひたすらにただひたすらに

名を留む伝え守りてなりに 自治の旗風にゆらめき 森影にどよめきのわく 真実の鐘鳴り響き

恵迪は今よみがえる